



みどりの杜俳句会



紅葉のトンネル抜けて列車過ぐ	梅沢喜久江
垣のばら夜露に濡れて枝撓ふ	西ツル
木枯らしや名残の銀杏飛ばさる	梅澤 時江
御会式の花火夜空に轟けり	鈴木 啓子
山畑のブルーベリーの紅葉濃し	田村 好子
声高く杉の梢に小鳥来る	有賀袈裟江
一口に大根ほぐれおでん酒	初雁 功子
銀杏の落ちて窪みを埋めにけり	小宮 勉
熊出づる刻記しあり峠口	山田 美子

人権シリーズ

【保育と人権】

人間形成の基礎が作られる乳幼児期は、人権尊重の精神を育むことが極めて重要です。子どもたちは身近な大人に愛され、認められる体験を重ねることで、自分がまわりの大人から大切にされていることを実感し、自分自身を大切に思えることが人への信頼感を生み、豊かな人間関係の土台が培われていきます。

保育の現場において、一人一人の保育士が人権に配慮した保育を行っています。性差や個人差による固定的な考え方を植え付けないよう配慮し、子どもに差別のない環境を整える。子ども一人一人の権利と尊厳を尊重し、自己肯定感や他者への信頼を育む保育を心がけています。

日常の生活の一場面で、男の子だから、女の子だから、年上だから、小さいから、みんなと違うことをしているから「こうであるべき」という大人の先入観で物事を決めてしまったり、育てやすいからと、なんでも周りに同調させようと、大人の都合を優先させてしまつたりする場面が見られます。私達大人が固定的な考え方を植え付けないよう配慮し、子どもを一人の人間として尊重する。一人一人の個性、発達段階に個人差があることを配慮し、子どもの気持ちを丁寧に聞き気持ちを知ろうとすること。気持ちに寄り添い共感的なかかわりをすることを大切にし、子育てや保育をしていかなければならぬと私は思います。

城山保育園 園長 齊藤 由美子

(432)

ムダレーナ

Literary Corner

アートの世界



「ニュージーランドのオーロラ」

撮影者 写友会

佐藤 裕一さん (御堂)

ニュージーランド南島のティアナウ湖で撮影したオーロラの写真です。南半球のオーロラはオーロラベルト近辺には陸地が少なく少し離れたニュージーランドからグリーンのオーロラと赤色のオーロラが見えます。この写真は、11月12日頃に太陽活動が活発になり、オーロラも各地で見られた様子です。太陽活動が活発な周期がピークを過ぎる前に再度オーロラ撮影にチャレンジしたいと思っています。また、各地への撮影会に参加したりして、写真技術向上に取り組んでいます。